



# あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2015.12月号



## 2016年の天文現象

投影期間：12月5日(土)～1月31日(日)まで



↓アルデバラン

1998年10月のアルデバラン食



1992年1月の部分日食

2016年は大きな天文現象こそありませんが、粒揃いのラインナップとなっています。

まず3月9日(水)の昼に、全国的に久しぶりの部分日食が見られ、平塚ではおよそ2割ほど欠けた太陽を見ることができます。インドネシアから北太平洋上の一部では皆既日食になります。5月31日には火星が2年2ヶ月ぶりに地球に接近します。-2等級まで明るくなる頃、さそり座のアンタレスの近くを移動するため、名前の由来になったとおりの赤さ比べを楽しめます。11月16日には、おうし座のアルデバランが月に隠される、星食が起こります。

もちろん、毎年恒例の流星群もあります。とくに8月13日未明に極大を迎えるペルセウス座流星群は、明るい月に邪魔されることなく、たくさんの流れ星を観察することができるでしょう。一方、2016年は宇宙探査が盛り沢山です。金星周回軌道に投入された「あかつき」が観測に入り、年明けにはX天文衛星「ASTRO-H」の打ち上げがあります。海外では、木星磁気圏探査機「ジュノー」の木星到達や、火星に穴を掘る「インサイト」&実験機「スキャパレリ」の火星着陸があります。これらの天文現象を、プラネタリウムのシミュレーション機能を使いご紹介します。

### 2016年の主な天文現象

- (1/4) しぶんぎ座流星群が極大
- (3/9) 全国的に3年ぶりの部分日食
- (4/22) こと座流星群が極大
- (5/6) みずがめ座 $\eta$ 流星群が極大
- (5/31) 火星小接近・最接近時の明るさは-2等級
- (8/13) ペルセウス座流星群が極大・月明かりなしの好条件
- (10/21) オリオン座流星群が極大
- (11/14) スーパームーン・1年で最も見かけの満月が大きい
- (11/16) 月によるアルデバラン食
- (12/14) ふたご座流星群が極大・満月近くの月明かりあり



### 2016年の主な宇宙開発の予定

- (1月) H-IIA ロケットによるX線天文衛星「ASTRO-H」打ち上げ
- (3月) 火星着陸機「インサイト」打ち上げ
- (3月) 火星探査機「エクソマーズ」「スキャパレリ」打ち上げ
- (6月) 大西卓哉宇宙飛行士がISS滞在開始
- (7月) 木星磁気圏探査機「ジュノー」到着
- (9月) 小惑星探査機「オシリス」打ち上げ
- (10月) 火星探査機が相次いで到着・着陸
- (未定) イプシロンロケットによる磁気観測衛星の打ち上げ
- (未定) イプシロンロケットによる地球観測衛星の打ち上げ
- (未定) 有人宇宙ステーション「天宮2号」の打ち上げ



平成27年度  
秋期特別展

後世に残したい  
**相模川流域の地球遺産**  
—相模川をジオパークに—

を終えて

秋期特別展「後世に残したい相模川流域の地球遺産 —相模川をジオパークに—」が、去る11月29日(日)に閉幕しました。本特別展は相模川流域に残る多様な自然遺産や文化遺産を取り上げ、各地域で暮らす皆さんに、その地域の価値を再確認して貰いたいと考えて企画したものでした。開催にあたっては、流域の市町村や、博物館など諸機関から様々な協力を受け、地域としても分野としても幅広い範囲にわたる展示を行うことができました。ご協力頂いた皆様には厚く御礼申し上げます。

期間中に実施した関連行事も、好評のうちに終了しました。特に11月8日の記念講演会「相模川をジオパークに」では、平塚市内だけでなく流域の様々な地域から参加がありました。講演では、相模川流域の地球遺産の紹介にはじまり、相模川の成り立ちと日本列島の形成との関わりや、流域の地球遺産を今後保存し活用していくために地域と人々はどうあるべきか、等について講師陣からじっくり解説があり、参加者からも活発な意見が交わされました。



↑記念講演会の様子。会場がほぼ満員になるほどの参加がありました。

今回の展示は「相模川流域の自然と文化」をテーマとする平塚市博物館らしさを前面に押し出したものとなったと思います。この展示が、今まで広く知られていなかった相模川流域の魅力と価値を再発見するきっかけとなり、流域の皆さんがさらに地域に誇りを持つことに繋がれば幸いです。

2階情報コーナーでは、12月12日(土)からポスト特別展として、秋期特別展の一部を再度展示します。秋期特別展を見逃した方も、十分に見足りなかった方も、ぜひ足をお運び下さい。

## 体験学習「お飾りをつくろう」参加者募集!

12月20日(日) 13:00～16:00 会場：博物館講堂

お正月のしめ飾りをつくる時季を迎えました。博物館では、毎年、入野の今井隆さんに講師をお願いして体験学習を実施しています。つくるお飾りは、一文飾り、輪飾り、玄関飾りの3種類。一文飾りは、平塚市域に昔から伝わるお飾りで、戸口や屋敷神やお墓など、大切な場所に飾ります。お飾りをつくるには、まず縄のない方から学びます。わら細工が初めの人にとってはこれが最大の難関かもしれません。コツをつかめばきつとなえるはず……。

参加者のお目当ては玄関飾り。わらをふんだんに使って土台となる輪をこしらえ、そこに紅白のシメや橙などを取り付けた華やかなお飾りです。玄関飾りづくりには、講師の今井さんが考案した画期的な技法がたくさん盛り込まれています。写真のように、四人一組でわらをねじって太い三本縄をつくる方法もその一つ。今井さんいわく、「講師の言うとおりにやれば、誰でも同じお飾りができます」のとおり、たとえ縄がなえない人でも立派な玄関飾りができちゃうのです。



さて、皆さんも、今年は手作りのお飾りでお正月を迎えてみませんか?

制作中の玄関飾り(左)と完成品



### 申込方法

往復はがきに住所、氏名、電話番号を記入し、12月10日(木) <消印有効>までにお申込ください。定員は30名で、多数の場合は抽選させていただきます。参加費は無料です。

クリスマス

# DeL SoLë プラネタリウム・コンサート

2014年に続いて、平塚市博物館では2回目の登場となる音楽ユニット D ë L SoL ë (デル・ソール)。バンド名の由来となった“太陽”のようにあたたかいしっとりした音楽がプラネタリウムの星空によく似合います。2回目の今回はクリスマス・コンサート。公演回数を2回に増やして皆さんをお待ちしています！ 聖夜にすてきな音楽を聴きながら星空に包まれて過ごしてみませんか？

< D ë L SoL ë >

2006年9月に結成。作曲 & Violin miho、Drums&Percussion 長谷頼晃の2人組ユニット。バンド名の由来は、ポルトガル語で、delsole (太陽) + 英語の soul (魂)。聴いていただいた方、一人一人の太陽のように暖かい存在となれるように、曲に込められた想いを大切に、魂を込めて演奏していく、との思いから命名。mihoの創り出す、愛溢れるオリジナル曲は、自然と心深くに響き、国境や人種、年齢などの壁を全く感じさせない。より強く、より優しく、無限大の広がりを感じさせる。

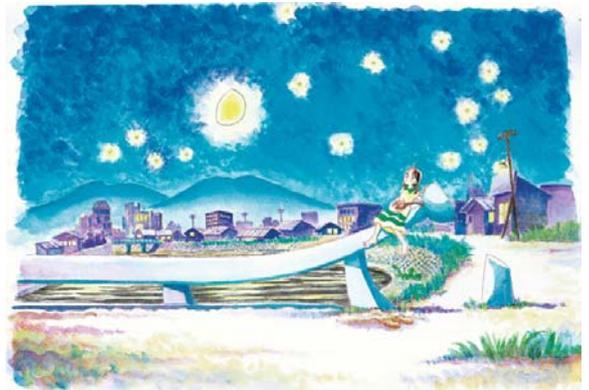


日時：12月25日(金) (1) 午後2時～ (2) 午後7時～ (開場30分前)  
場所：プラネタリウム室 (全席自由席)  
申込：12月4日(金) 午前10時より電話申込 (33-5111)  
定員：各回60人 (申込先着順)  
観覧料：200円 (18歳未満・65歳以上無料)

## プラネタリウム特別投影『夕風の街・桜の国』

12月20日(日) 15時30分

広島市出身のまんが家、こうの史代さん原作のコミック作品を、広島市子ども文化科学館が「被爆地の科学館から平和を訴えたい」との思いでプラネタリウム番組化した「夕風の街・桜の国」。核兵器廃絶平和都市宣言30周年の記念日である12月20日に再び投影します。夏休みに見られなかった方はぜひ、お見逃しなく。



おりひめ星のあること座



これも星座です。何座でしょう？

1階 寄贈品コーナー展示

### 足もとの星座たち—商店街の絵タイルを歩こう—

展示期間：11月28日(土)～12月24日(木)

平塚駅周辺の湘南スターモール、紅谷パールロード等には、七夕まつりにちなみ星座絵を描いたタイルが設置されています。7月7日の星空にあわせた配列で、24星座があります。設置から30年、みなさんは、いくつご存知でしたか？

左下の星座は「みなみのうお座」。当初、市役所に星座名のスペルがまちがっているという指摘が寄せられました。しかしこれは、決してミスではありません。ヒントは絵の中に引かれた線。じつはこの絵は18世紀フランスの星空なのです。等々、商店街の星空探索にご案内しましょう。

【関連行事】「商店街で星座をたどろう」

本展示に合わせ平塚市商業観光課が行う、まち歩きの記事です。当館館長がガイドを務めます。

日時：12月20日(日) 10～12時。紅谷町市民プラザ前集合10時 定員：15名。

申込：商業観光課(0463-35-8107)にお電話下さい。12月7日(月)8:30より受付。

1	火	太陽勉強会	特別研究室	
2	水	神奈川キノコの会	講堂	
3	木	展示解説ボランティアの会	講堂	
4	金	聞き書きの会	科学教室	
		古文書講読会	講堂	
5	土	東国史跡踏査団	講堂	☆
	○	ひらつか星空調査隊	講堂	☆
6	日			☆
7	月	休館日		
8	火			
9	水			
10	木	古代生活実験室	科学教室	
		平塚石仏の会	野外	
11	金	お囃子研究会	講堂	
		古文書講読会	講堂	
12	土	星まつりを調べる会	特別研究室	☆
		相模川の生い立ちを探る会	科学教室	
		平塚の空襲と戦災を記録する会	講堂	
		天体観察会 流星分科会	プラネタリウム室	
	○	ひらつか星空調査隊	須賀公民館	
13	日	◎天文連続講座「系外惑星20年」第4回	講堂	☆
	◎	星空と音楽の夕べ	プラネタリウム室	☆
		天体観察会 勉強会	講堂	
		平塚の古代を学ぶ会	科学教室	
14	月	休館日		
15	火	太陽勉強会	特別研究室	
16	水	裏打ちの会	科学教室	
		民俗探訪会	講堂	
17	木	展示解説ボランティアの会	講堂	
		石仏を調べる会	講堂	
18	金	◎星を見る会「月面Xを見よう」	科学教室・屋上	
		古文書講読会	講堂	
19	土	地域史研究ゼミ	特別研究室	☆
		平塚の空襲と戦災を記録する会	特別研究室	
		平塚学講座	講堂	
	○	ひらつか星空調査隊	講堂	
20	日	◎夕凧の街・桜の国	プラネタリウム室	☆
	○	体験学習「お飾りをつくらう」	講堂	
	◎	ろばたばなし	相模の家	
		天体観察会 流星分科会	科学教室	
21	月	休館日		
22	火			
23	水	○ひらつか星空調査隊	金目公民館	
24	木			
25	金	○D ë L SoL ë クリスマス・コンサート	プラネタリウム室	
	◎	館長の星空解説	プラネタリウム室	
26	土	◎考古学入門講座 第3回	講堂	☆
		お囃子研究会	講堂	
	○	ひらつか星空調査隊	講堂	☆
27	日			
28	月	休館日		
29	火	休館日		
30	水	休館日		
31	木	休館日		

情報コーナー「プラネタリウム一般投影「2016年の天文現象」(11/28〜12/24)」  
 情報コーナー「プラネタリウム一般投影「2016年の天文現象」(12/5〜1/31)」  
 情報コーナー「プラネタリウム一般投影「2016年の天文現象」(12/12〜1/31)」  
 情報コーナー「プラネタリウム一般投影「2016年の天文現象」(12/19〜1/31)」  
 情報コーナー「プラネタリウム一般投影「2016年の天文現象」(12/26〜1/31)」

1	金	休館日		
2	土	休館日		
3	日	休館日		
4	月	休館日		
5	火			
6	水			☆
7	木	展示解説ボランティアの会	講堂	☆
	○	ひらつか星空調査隊	講堂	☆
		聞き書きの会	特別研究室	
8	金	お囃子研究会	講堂	
		古文書講読会	講堂	
9	土			☆
10	日	平塚の古代を学ぶ会	科学教室	☆
		スターウォッチング入門講座・冬	講堂	
11	月	祝日開館日		
12	火	休館日		
13	水			
14	木	古代生活実験室	科学教室	
	◎	星を見る会	科学教室・屋上	
		古文書講読会	講堂	
		東国史跡踏査団	講堂	
16	土	天体観察会	講堂	☆
		地域史研究ゼミ	特別研究室	
		平塚の空襲と戦災を記録する会	特別研究室	
		相模川の生い立ちを探る会	野外：鎌倉雨天：科学教室	
17	日	◎ろばたばなし	相模の家	☆
	◎	星空と音楽の夕べ	プラネタリウム室	
		神奈川キノコの会	講堂	
18	月	休館日		
19	火	地質調査会	工作室	
		太陽勉強会	特別研究室	
20	水	民俗探訪会	講堂	
		裏打ちの会	科学教室	
21	木	展示解説ボランティアの会	講堂	
22	金	古文書講読会	講堂	
		星まつりを調べる会	特別研究室	
23	土	地球科学入門講座	講堂	☆
		お囃子研究会	講堂	
24	日	◎郷土史入門講座	講堂	☆
		天体観察会 勉強会・文化祭準備	講堂	
25	月	休館日		
26	火			
27	水			
28	木	平塚石仏を調べる会	講堂	
29	金			
30	土	天体観察会 定例会	講堂	☆
31	日	◎宇宙開発連続講座 第1回	プラネタリウム室	☆

☆：プラネタリウム投影日 ○：申込制行事 ◎：参加自由 無印：年間会員制

◎考古学入門講座「平塚の城と合戦」第3回「小田原北条氏の興亡」  
 内容：小田原北条氏の相模支配と城館の話。  
 日時：12月26日(土)午後3時～午後4時30分 場所：講堂

【プラネタリウム】定員：70人 観覧料：200円(18歳未満・65歳以上無料)  
 ○観覧券をお求めのうえ、投影開始10分前までに3階にお越しください。  
 ○全席自由席です。○投影開始後のご入場・途中退場はできません。

☆プラネタリウム幼児向け投影「だれがおひさまかくしたの?」(未就学児向け)  
 投影日：12月12日(土)、12月26日(土) 午前11時

☆星空と音楽の夕べ 投影日：12月13日(日) 時間：午後4時  
 内容：チャイコフスキーの「くるみ割り人形」など、クラシック音楽を聞きながら美しい星空を鑑賞します。

☆館長の星空解説「いつもの星空・冬 一走る地球ー」  
 投影日：12月26日(土) 午後3時30分  
 内容：マラソンの沿道応援風に、軌道を駆け抜ける地球を眺めます。

12月の休館日：7日、14日、21日、28～31日

※博物館からのお願い  
 駐車場が大変混雑しています。極力、公共交通機関でご来館ください。

【自由参加の行事】

◎天文連続講座「系外惑星20年」第4回「生命の徴候を求めて」  
 内容：どのような惑星が見つければ生命が存在すると考えられるのでしょうか？生命と惑星の関係を総合的に解説します。

日時：12月13日(日) 午後3時30分～午後5時 場所：講堂

◎星を見る会「月面Xを見よう」

内容：月の地形と太陽の光が織り成す不思議な模様、月面Xの観察にチャレンジ。

日時：12月18日(金) 午後7時～午後8時30分 場所：科学教室・屋上

◎ろばたばなし

内容：民家のいろりばたで昔話を語ります。 場所：相模の家

日時：12月20日(日) (1)午後1時20分 (2)午後3時

あなたと博物館 43巻9号 通算468号 発行 平塚市博物館 2000  
 〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949  
 ホームページ <http://www.hirahaku.jp/>